

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

かわ

## 川から、

おうじ

## すくわれた王子



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: M. Maillot; Lazarus

かいさくしゃ

改作者: M. Maillot; Sarah S.

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2009 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



<sup>だいじん</sup> とうり大臣ヨセフが、<sup>な</sup> とうとう亡くなつてしまひ  
<sup>ひとびと</sup> ました。エジプトの人々は、ヨセフのかぞく  
<sup>おな</sup> と同じように<sup>かな</sup> 悲しい<sup>き</sup> 気持ちで<sup>も</sup> いっぱい  
<sup>かみ</sup> です。神さまは、<sup>た</sup> 食べるものも、<sup>の</sup> 飲む  
<sup>こま</sup> ものもなくて困っていたヘブライの

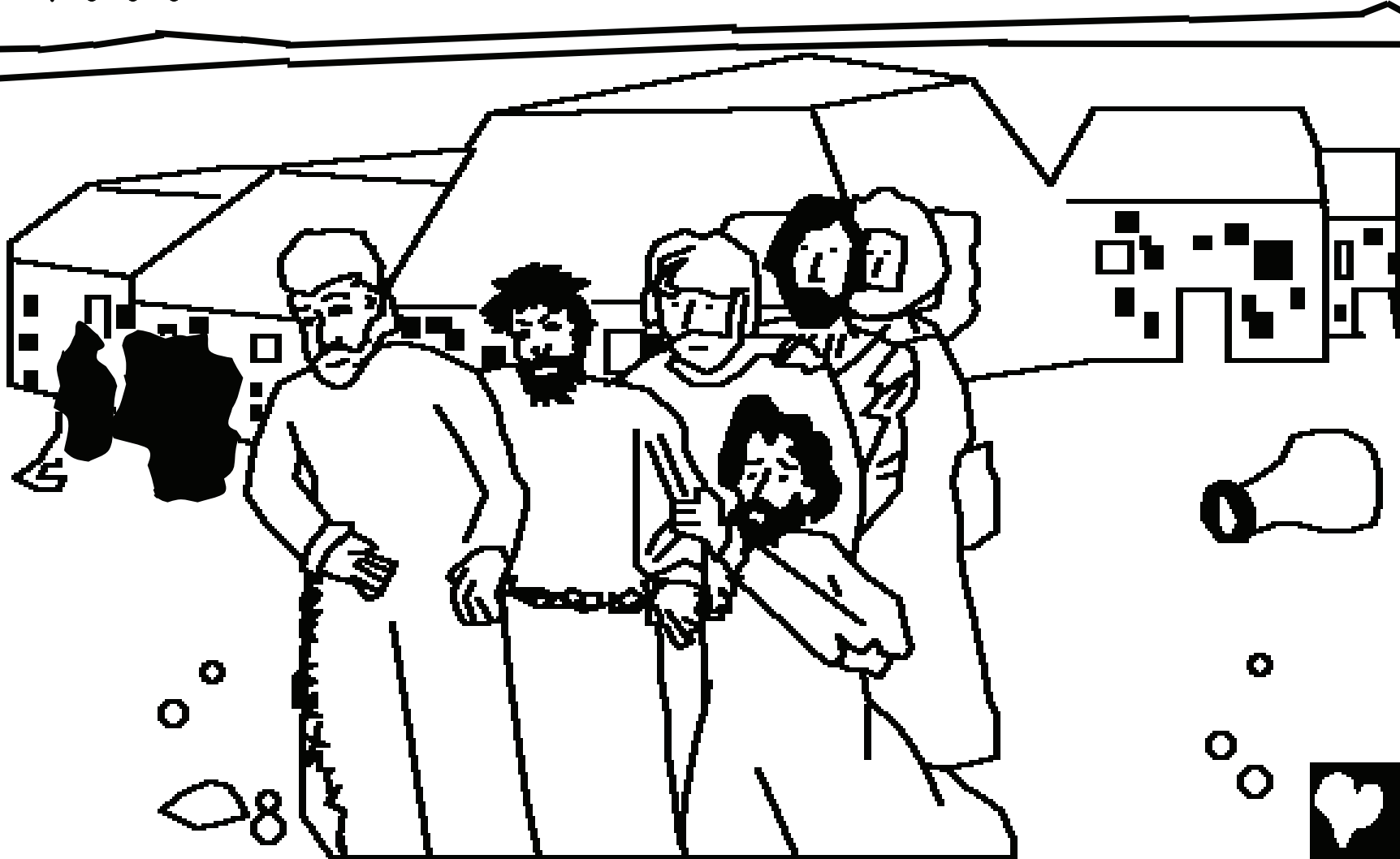
<sup>くに</sup> くに <sup>ひとびと</sup> ひとびと <sup>すく</sup> すく  
国の人々を救うため、ヨセフ  
<sup>もち</sup> を用いられたのですね。  
ヨセフは、かし  
こくて、みんな  
<sup>だいす</sup> の大好きなリーダー  
でした。そのリーダ  
ーも、もういなくなつ  
てしまったのです。



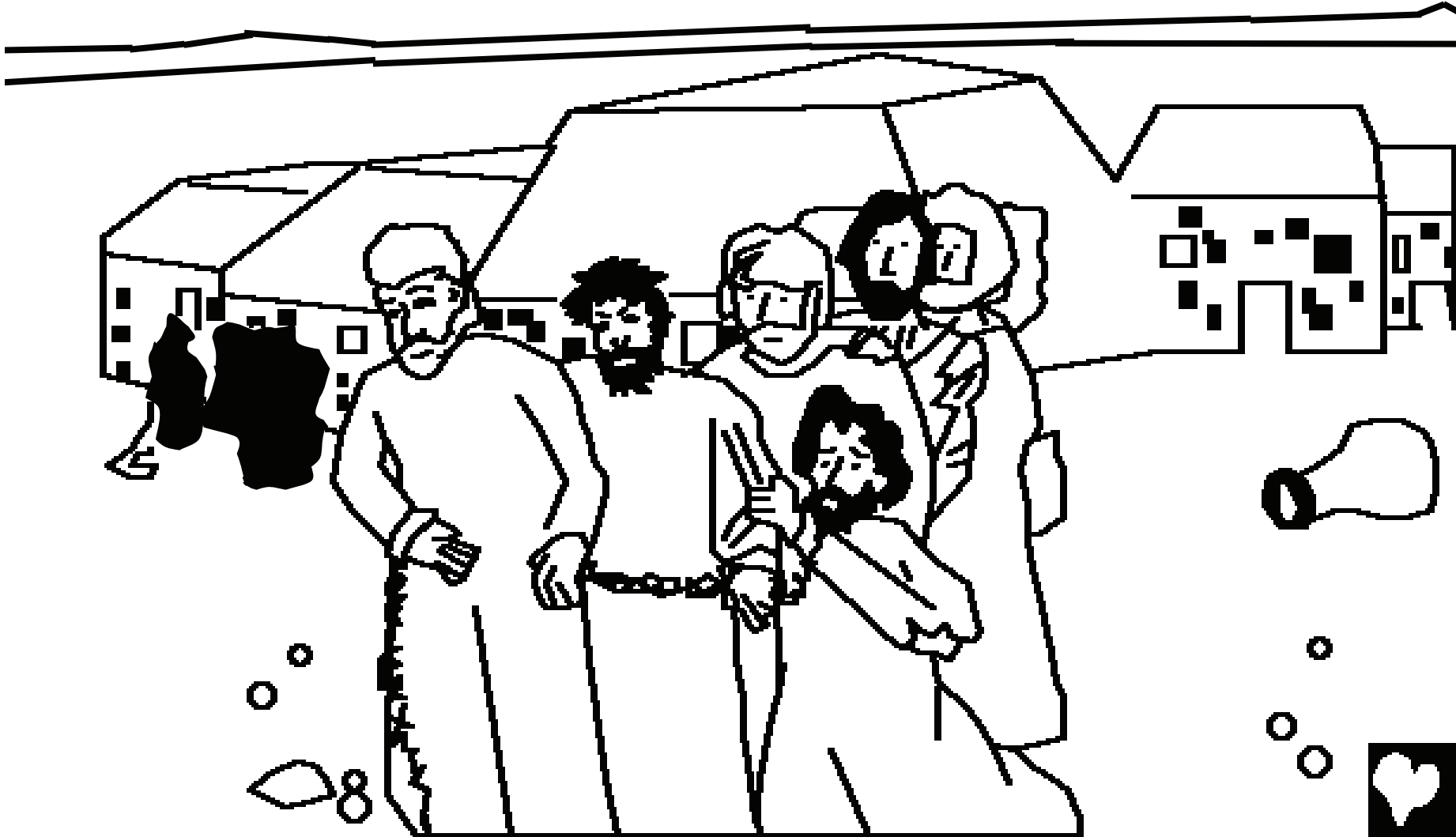
それから、300年もの長い年月が、過ぎていきました。

ヨセフの国の人々へブライ人は、エジプトでどんどんふえ続け、

強い民ぞくになっていきました。このころ、新しく王さまになったファラオは、。。。



。。。 <sup>ひと</sup>ヘブライの<sup>じぶん</sup>人たちが**自分**たちより<sup>つよ</sup>強くなり、  
<sup>い</sup>言うことをきかなくなってしまうのではないかと<sup>おも</sup>思い、おそろしくなりました。  
そこで、ファラオは、<sup>じん</sup>ヘブライ人をみんなどれいにしてしまったのです。



ファラオは、ヘブライ人<sup>じん</sup>をひどく苦し<sup>くる</sup>めました。

かれは、ヘブライ人<sup>じん</sup>に大きな町<sup>おおまち</sup>をたてるようにめいれいし、  
まいにちまいにち<sup>し</sup>

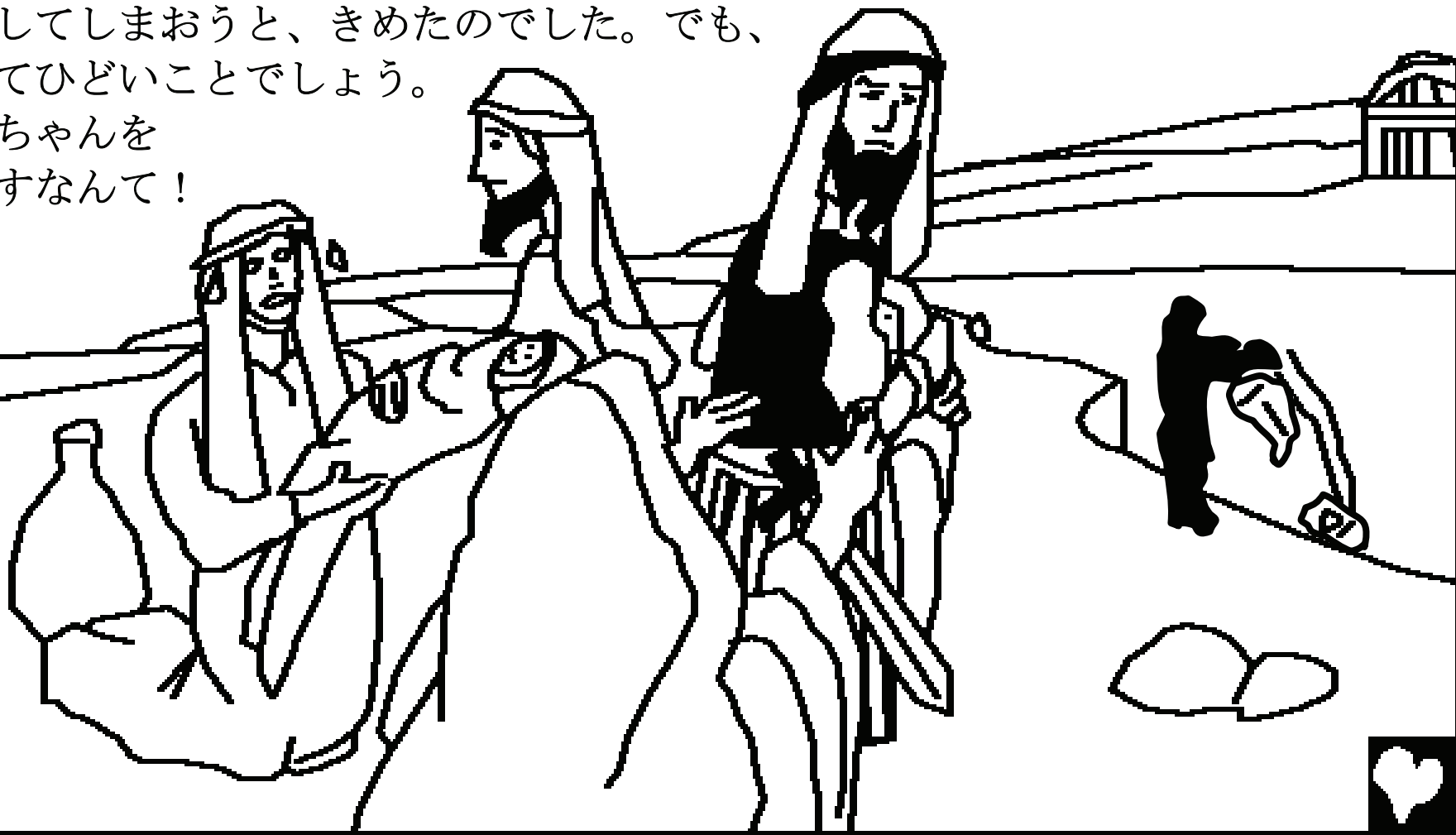
毎日毎日、死ぬ<sup>し</sup>ほどはたらかせました。けれども、

どんなにはたらかされても、どれいとなったヘブライ人<sup>じん</sup>は、  
ますますふえつづけていくのです。



ある日のこと、ファラオは、<sup>ほんとう</sup>本当におそろしいことを、  
めいれいしましたよ。それはね、「<sup>う</sup>生まれたばかりの<sup>おとこ</sup>男のあかちゃんは、  
<sup>がわ</sup>みんなナイル川になげすててしまおうんだ！」ということでした。

このひどい<sup>おう</sup>王さまファラオは、こうやってへブライ人の<sup>じん かず</sup>数を、  
へらしてしまおうと、きめたのでした。でも、  
なんてひどいことでしょう。  
あかちゃんを  
ころすなんて！



「いったい、どうしたらいいのだろう。」<sup>おとこ</sup> <sup>こ</sup> <sup>う</sup> 男の子が生まれたばかりのかぞくは、  
ほんとうにどうしようと、いろいろ<sup>かんが</sup> 考えたことでしょう。そして、  
とうとうかれらは、あかちゃんをナイル川へつれていくことに、  
きめたのです。でもね、あかちゃんを、なげすてに<sup>い</sup> 行ったんじゃないんですよ。

あかちゃんは、<sup>みず</sup> 水が入ってこない<sup>ちい</sup> 小さい  
<sup>なか</sup> <sup>い</sup> なかごの中に入れられたのです。





ちい

たいせつ

小さなかごのボートは、その**大切**なあかちゃんをはこびながら、

なか

ゆらゆらとアシのしげみの中なかにうかんでいますよ。でも、

なに

その小さなあかちゃんに、いったい**何**がおこる

のでしょうか。



ほう

とおくの方から、あかちゃんのおねえさんが、そのだいじなあかちゃんのかごを、

み

じっと見つめていました。かごは、アシのしげみの中で、うかんだりしず

なか

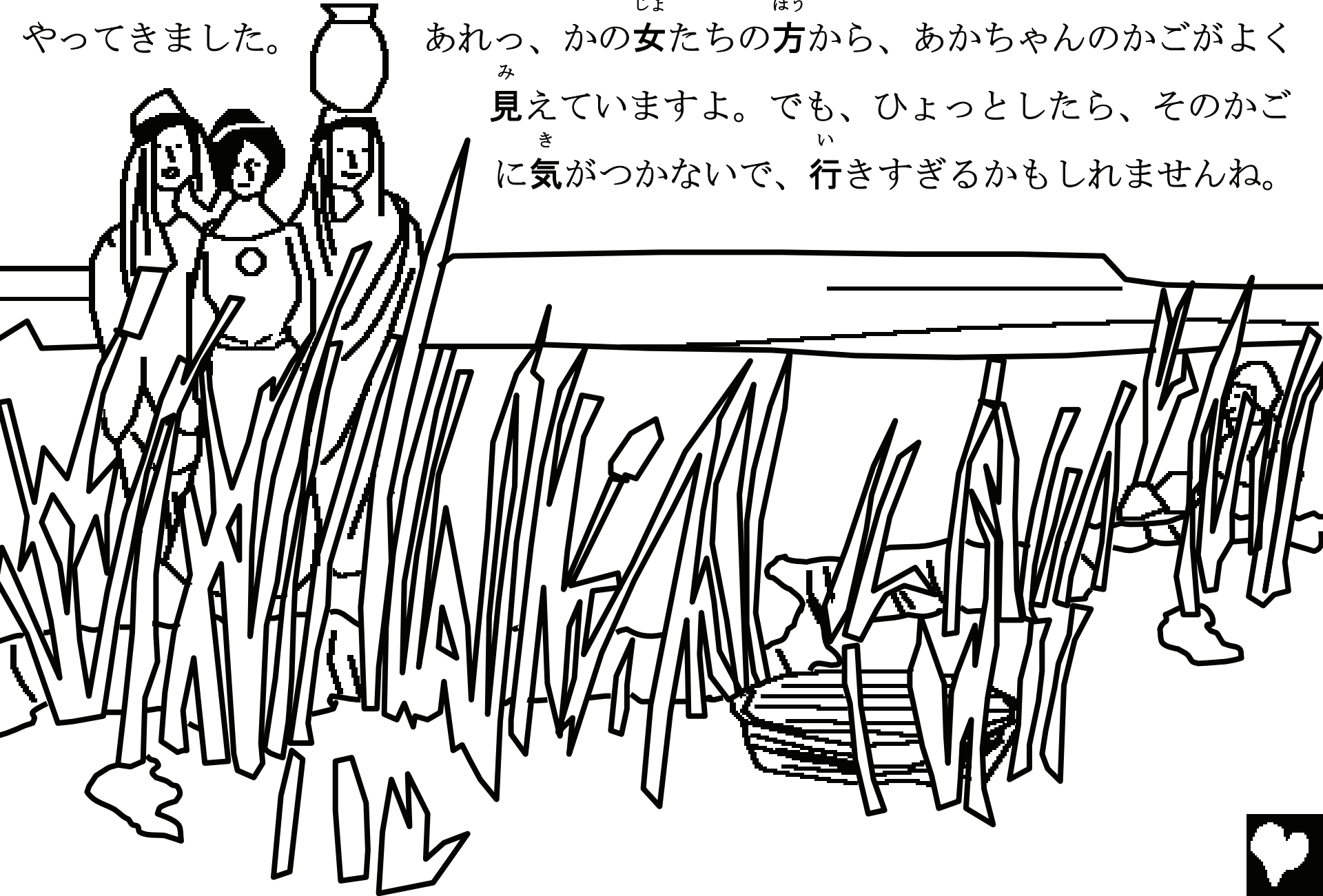
みそうになったりして、ゆらゆら、

ゆらゆら……。



とつぜん、ファラオのむすめと召しつかいが、水あびをしようと、川の方へ、  
やってきました。

あれっ、かの女たちの方から、あかちゃんのかごがよく  
見えていますよ。でも、ひょっとしたら、そのかご  
に気がつかないで、行きすぎるかもしれませんね。



「ほら、<sup>み</sup>見て！あそこにかごがあるわ。ほら、あのアシのしげみの中なかに！

「<sup>はい</sup>いったい、なにが**入**っているんだろう。」ファラオのむすめは、  
<sup>め</sup>召しつかいにそのかごを、とってくるように**言**いました。そして、  
<sup>あ</sup>そのかごを**開**けてみると、まあびっくり！

<sup>なか</sup>中にあかちゃんがいるではありませんか。

あかちゃんが、<sup>な</sup>**泣**きだしました。「きっと、

<sup>じん</sup>ヘブライ人のあかちゃんだわ。」

<sup>おうじよ</sup>王女は、さげびました。



「おお、かわいそうに。でもなんてかわいいんだろう。」たぶん、ファラオのむすめは、お父さんやお母さんが子供に話すように、そのあかちゃんにやさしく話しかけたのでしょう。かの女は、なんてかわいい赤ちゃんなのだろう！

と言ったのかもしれない。もちろん、

エジプトのことばで言われたのですけれどね。



かみ

神さまは、きっとあかちゃんのおねえさんに、とくべつな知恵ち え あたを与えられたにち  
がいありません。とおくからじっとようすをみ見ていたおねえさんは、ファラオの

おお

おうじよ

ところへ、大いそぎで、やってきました。「王女さま、わたしがあかちゃんを

せ わ

じん おんな ひと

世話するへブライ人の女の人を、さがしてきましようか。」

おうじよ

「そうしておくれ。」王女は、こたえました。

おんな こ

でも、その女の子は、  
いったいだれを、  
つれてくるつもりなの  
でしょうね。



「おかあさん、はやく来<sup>き</sup>て！急<sup>いそ</sup>いで、急<sup>いそ</sup>いで、こっちよ。」たぶん女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>は、  
おかあさんにせつめいしているひまなどなかったでしょう。二人<sup>ふたり</sup>は、  
いっしょにせまい小<sup>こ</sup>道<sup>みち</sup>を、  
かけ下<sup>お</sup>りていきました。

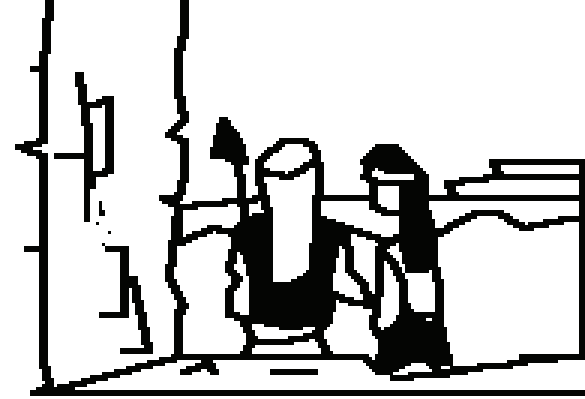


かわ  
川のところまでもどってみると、ファラオのむすめが、あかちゃんをさし出し  
て言いました。「さあ、あかちゃんに乳をのましてください。その手当ては、  
わたしが出しましょう。この子は、  
モーセとよびましょう。  
モーセというのは、  
エジプトのことばで、  
たぶん「水からのむすこ」  
という意味です。





それでね、モーセは、お父さんやお母さんの家へもどる  
ことが、できたのです。そこで、モーセは、神さまを愛  
すること、そしてヘブライの人々を愛することを、教え  
られました。しばらくして、モーセは、またファラオの



むすめのいる宮でんに住  
むようになりました。

モーセのいのちを助けて

くださった神さまは、

あかちゃんモーセの未来に、

すばらしい計画を

考えていらっ

しゃいました。



かわ おうじ  
川から、すくわれた王子

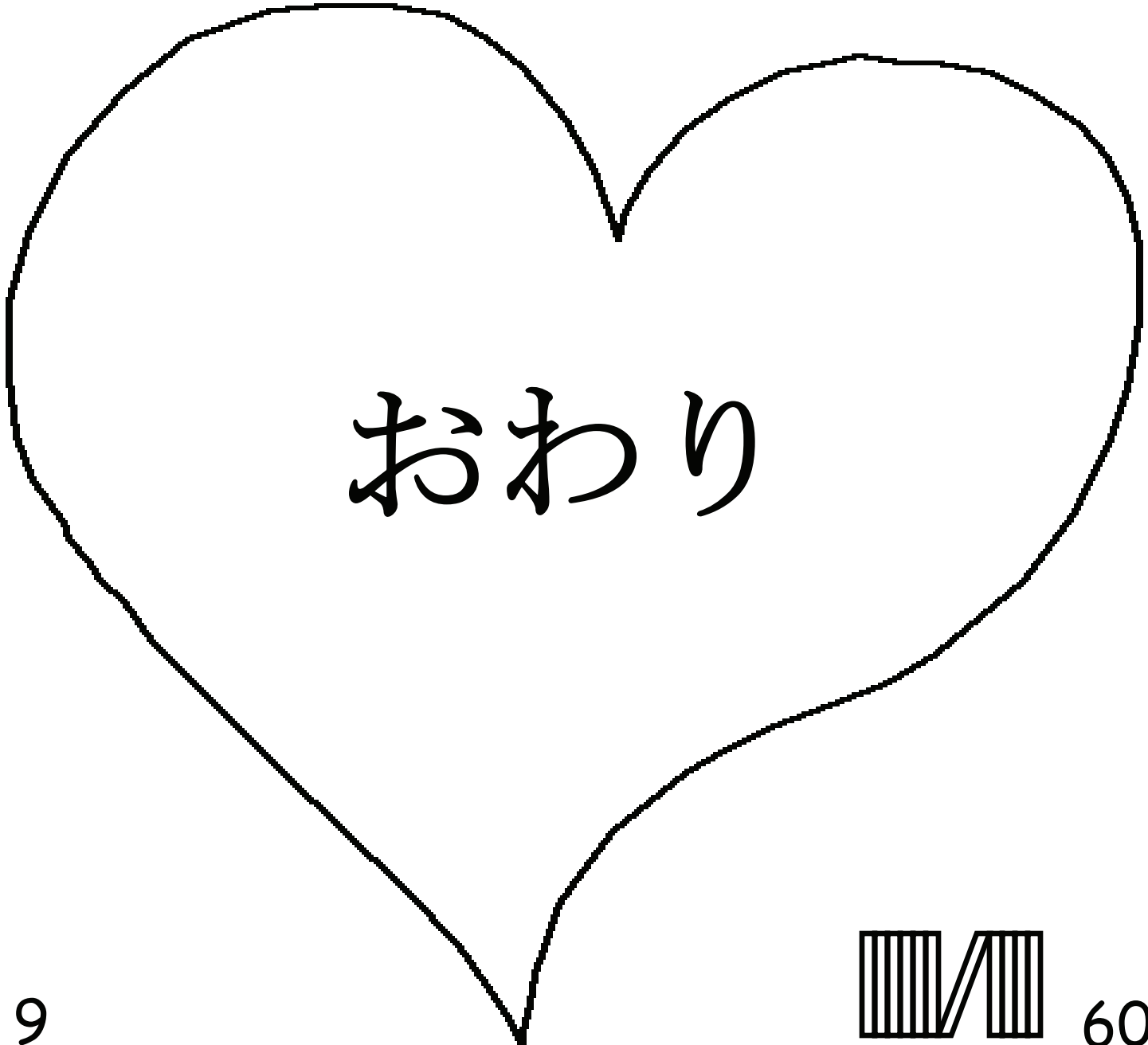
かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しゅつ き しょう  
出エジプト記 2 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130

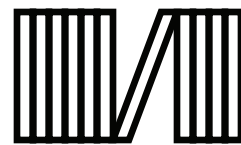




おわり



9



60



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さま  
は、罪つみとよばれています。その罪つみのむしくいは、死しです。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世よに送おくってくださいました。そしてあなたつみの罪つみのためじゅうじかじょうに、十字架な上なで亡なくなられたのです。けれども  
それてんごくから、イエスさまはよみてんごくがえられ、天国てんごくのいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ  
ましんを信しんじ、ゆるしんしてくしんださしんいとおねしんがしんいするしんなら、イエスさまは、ゆるしんしてくしんださしんいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今いま、あなたところの所きへ来なて、あなたなのこすころすの中すに住なんでくすださすいます。そして、いつますでもイエスさ  
まといっいしょいに生いきるいこといがいまいすよ。

もし、あなたが、これがほんとうだしんと信かみじるいなら、神いさまいにこうい言いっていくだいさいい。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛あいするかみ神わたしさま、私かみは、あなたしんが神ひとさまわたしと信つみじなます。あなたなは人なとなり、私わたしたちの罪つみのためなに亡なくななっ  
てくださいました。そして、よみいがえいって、いまい生いきて  
わたし なか き つみ わたし いま  
いらっしゃいます。どうか、私わたしのこなころきの中つみにつみ来つみて、罪つみをゆるつみしてくつみださつみい。それで、私わたしは今いま、あわたしたいま  
らしい命いのちをいのちいいのちただいのちけいのちます。そして、いつか、あなたところの所いへ行いき、いつまいでもあなたいといっいしょいにいる  
ことこがいできるいのいです。あなたこにいしたいがいえいますいよう、あなたこの子いとしてい生いきるいこといがいまいすいよう、たいす  
けていくださいま。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

